

コンクリート強度に関する試験方法の最新動向 ～リバウンドハンマーの再考～

主催：(一社)日本非破壊検査協会 RC 構造物の非破壊試験部門

協賛：(一社)セメント協会，日本建築仕上学会

(公社)日本コンクリート工学会，(一社)日本建築学会，

(公社)日本材料学会，(一社)日本非破壊検査工業会，

(公社)土木学会

【プログラム】

司会：野中英（熊谷組）

- <主旨説明> 13：00～13：25
湯浅昇（日本大学）
- <基調講演>
- ①リバウンドハンマーを用いた試験の実施状況のアンケート結果報告 13：25～13：40
岩野聡史（リック）
- ②「NDIS3438 コンクリートの反発速度比の測定方法」の紹介 13：40～14：10
濱崎仁（芝浦工業大学）
- ③リバウンドハンマーを用いた試験の試験対象深さに関する研究結果の報告 14：10～14：40
大野健太郎（東京都立大学）
- ④リバウンドハンマーを用いた試験で提案されている圧縮強度推定式について 14：40～15：10
小林幸一（セメント協会）
- <休憩> 15：10～15：30
- <パネルディスカッション> 15：30～16：50
進行：湯浅昇（日本大学）
リバウンドハンマーを用いた試験などのコンクリート強度に関する各試験の強度推定式の作成方法など，適切な適用方法に関する意見交換
- <閉会挨拶> 16：50～17：00
澤本武博（ものづくり大学）